

## 第10期で議論すべき事項についての各委員からの御意見

## ○小西委員

- (1) 専門職の博士学位の新設
- (2) リカレント教育の充実  
(とくに、専門職の維持に必要な継続的研修制度)
- (3) 実務家教員の育成プログラムの確立
- (4) 認証評価機関の国際化

## ○沼上委員

- (1) 社会科学系の大学院教育について

## ○湊委員

- (1) これまでの全国立大学の一律的な大学院重点化政策の検証
  - ・ 少子化への対応、より集約的な大学院重点化(たとえば国立大学3分類との関係)?
  - ・ 全ての教員を一律自動的に大学院教員とすることの是非(とくに学部教育の充実化の観点から)
  - ・ 研究型大学における大学院独立研究科(学部を持たない大学院)の現状と展望
- (2) 前期(修士)課程の位置づけと自立性
  - ・ 修士学位者の相対的増加と博士学位者の相対的減少に伴う修士課程の社会的な位置づけの再検討、修士学位(MD)の自立性(学部 vs. 修士、修士 vs. 博士)
  - ・ 学位課程としての到達点の明示(学部教育、後期課程との関係)
  - ・ 修士学位カリキュラムの自立的な質担保(大学院共通カリキュラムを含む)
- (3) 専門職大学院の多様化と規模、社会的な位置づけとインセンティブ
- (4) 学生定員の弾力化、専攻の包括化
  - ・ 固定化した小専攻の統合化(大専攻化)、専攻のフレキシビリティ
- (5) 授業料(とくに海外留学生)の自由化と評価による奨学金制度
  - ・ 経済的基礎による奨学金制度との兼ね合い